

令和4年度 長岡市の財務書類4表(一般会計等)概要版

統一的な基準

貸借対照表

長岡市が保有している土地や建物などの財産(資産)の合計と、その財産を築くための財源(自己資金や借入金など)の合計を、年度末時点で左右に並べて比較した表です。

これにより、現在までに整備された資産の財源構成のうち、将来返済しなければならない負債(他人資本)と、返済を要しない純資産(自己資本)を把握することができます。

資産	5,471 億円
これまでに取得した資産 (土地、建物、基金や現金等)	
【内訳】	
1 有形固定資産等	4,900 億円
2 投資その他の資産	385 億円
3 流動資産	186 億円
うち現金預金	81 億円

負債	1,713 億円
将来の世代が負担するもの (地方債、退職手当引当金等)	

純資産	3,758 億円
これまでの世代が負担したもの (固定資産等形成分、余剰分(不足分))	

行政コスト計算書

貸借対照表に計上されない人的サービスや給付サービスなどの資産形成につながらない行政サービスに要した経費(コスト)と、それに対する受益者負担分(収益)を表す財務書類です。

経常費用(A)	1,129 億円
【内訳】	
業務費用(人件費、物件費など)	639 億円
移転費用(補助金等、社会保障 給付など)	490 億円

経常収益(B)	33 億円
行政サービスの受益者負担分である使用料や手数料など	

純経常行政コスト(C)=(A)-(B)	1,096 億円
経常費用から経常収益を差し引いた、経常的な行政活動によって生じたコスト	

臨時損失(D)	3 億円
災害復旧事業費や資産除売却損など	
臨時利益(E)	1 億円
資産売却益など	

純行政コスト(F)=(C)+(D)-(E)	1,098 億円
------------------------------	-----------------

純経常行政コストに、臨時損失・臨時利益を加減した、全行政活動によって生じたコスト

純資産変動計算書

貸借対照表の「純資産」について、1年間でどのような増減があったかを表す財務書類です。

前年度末純資産残高(A)	3,700 億円
---------------------	-----------------

本年度純資産変動額(B)	58 億円
【内訳】	
純行政コスト	△1,098 億円
財源(税金等、国県等補助金)	1,148 億円
その他(無償所管換など)	8 億円

本年度末純資産残高(C)=(A)+(B)	3,758 億円
-----------------------------	-----------------

資金収支計算書

1年間の資金の増減を「業務活動」、「投資活動」、「財務活動」の活動別に示したものです。

前年度末資金残高	68 億円
-----------------	--------------

本年度資金収支額	3 億円
【内訳】	
業務活動収支	87 億円
投資活動収支	△72 億円
財務活動収支	△12 億円

本年度末資金残高(A)	71 億円
--------------------	--------------

前年度末歳計外現金残高	10 億円
本年度歳計外現金増減額	0 億円
本年度末歳計外現金残高(B)	10 億円

本年度末現金預金残高(A)+(B)	81 億円
--------------------------	--------------

市民1人当たりに換算すると

	(R4)	(R3)	(対前年度比)
★資産は...	209万4千円	205万9千円	+3万5千円
★負債は...	65万6千円	65万6千円	±0千円

他団体の財務書類との比較(令和3年度決算)

長岡市と新潟市及び上越市の3市で、一般会計等財務書類における市民1人当たりの数値を比較しています。

貸借対照表の比較

＜市民1人当たりの貸借対照表の比較＞

(単位:千円)

区 分	長岡市	新潟市	上越市	平均
人 口 (人)	263,728	779,613	187,021	
有形固定資産等	1,855	1,512	2,051	1,806
投資その他の資産	142	65	61	89
流動資産	62	43	85	63
①資産合計	2,059	1,620	2,196	1,958
地方債	586	856	642	695
上記以外の負債	70	104	75	83
②負債合計	656	960	718	778
③純資産	1,403	660	1,479	1,181
負債・純資産合計(②+③)	2,059	1,620	2,196	1,958

◎負債は、平均より低くなっています。

◎資産及び純資産は、3市の平均並みとなっています。

行政コスト計算書の比較

＜市民1人当たりの行政コスト計算書の比較＞

(単位:千円)

区分	長岡市	新潟市	上越市	平均	
人 口 (人)	263,728	779,613	187,021		
業務費用	人件費	80.1	118.4	87.4	95.3
	職員給与費等	70.2	103.3	77.1	83.5
	賞与等引当金繰入額	4.7	7.2	5.6	5.8
	退職手当引当金繰入額	5.2	8.0	4.7	6.0
	物件費等	151.3	145.5	211.9	169.6
	維持補修費	22.6	14.4	22.9	20.0
	減価償却費	44.7	41.9	73.2	53.3
	上記以外の物件費	84.0	89.2	115.8	96.3
	その他の業務費用	4.4	6.2	5.8	5.5
	業務費用計	235.8	270.1	305.1	270.3
移転費用	補助金等	105.5	54.5	87.7	82.6
	社会保障給付	55.0	119.3	66.2	80.2
	他会計への繰出金	35.2	49.8	53.6	46.2
	その他	1.3	0.4	0.4	0.7
移転費用計	197.0	224.0	208.0	209.6	
①経常費用計	432.8	494.1	513.0	480.0	
使用料・手数料	6.3	9.3	8.9	8.2	
その他	5.3	5.2	14.2	8.2	
②経常収益計	11.6	14.5	23.1	16.4	
(差引)③純経常行政コスト(①-②)	421.2	479.6	489.9	463.6	
④臨時損失	1.1	0.5	3.1	1.6	
⑤臨時利益	0.6	0.8	0.4	0.6	
(差引)⑥純行政コスト(③+④-⑤)	421.7	479.3	492.7	464.6	

◎経常費用及び経常収益がともに、3市の平均より低くなっています。

◎純行政コストは、3市の平均より低くなっています。

(注) 同年度で比較するため、公開されている令和3年度決算の財務書類の数値を基に、長岡市で算出しています。人口は、令和4年1月1日現在の住民基本台帳人口です。端数処理の関係で合計が一致しないことがあります。